

福岡徳洲会病院

べっぶさおり
別府さおり

当院は、弥生時代中期、奴国の中心部があったといわれる福岡県春日市に昭和54年に開院しました。2014年新築移転し、36診療科・602床で地域の基幹病院としての役割を担っています。

図書室は24時間利用が可能です。暗く狭かった移転前に比べると、医局の向かい、食堂と同じ階に位置したことで格段に認知度が上がりました。電子ジャーナルへのアクセス数向上対策やデータベースの利用法の周知、製本雑誌の管理等々一人部署のために悩むこと、わからないことも多いですが、今後も会員の皆さまに助けをいただきながら質の向上に努めていきたいと思っております。

また、新築に伴い患者図書室を開設いたしました。レファレンスの依頼を受け、利用者から感謝の言葉を戴けたときはほっとします。近隣の市民図書館と横の繋がりもでき、お互いの蔵書を紹介しながらの健康講座も実施しています。これからも医療従事者・患者さん双方へ、迅速に正しい医療情報を届けることができるよう努力していきたいと思っております。

近畿図書室協議会会員の皆さまには今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



北から

会 員 紹 介

南から

大隅鹿屋病院

ふくだ みづえ
福田 瑞江

当院は鹿児島県大隅半島の鹿屋市（最近では、『永遠の0』で注目を集めました）に位置します。2014年11月に新築移転しました。現在10階建て350床規模で313床稼働しています。大隅半島唯一の心臓血管外科を有し、かつ救急対応も積極的に行い（救急受入年間2,000件ほど）、ドクターヘリも導入しています。



私は、医師事務作業補助者ですが、新築移転時に図書委員の命も受けました。移転と次年度書籍購入の準備が重なり、初めてづくしの諸々に、悪戦苦闘の日々が続きました。新年度の書籍がラインアップされ始めた2月に、やっとこの業務が軌道にのってきたと安堵できました。両立にあたり不安な思いでしたが、仲間助けられてここまで来たと感謝しています。加えて、近畿病院図書室協議会の方には『どんなことでも相談してください』という言葉をいただき、心強さを感じ、気持ちも軽くなりました。

現在、図書室のスペースが限られているため、購入冊子数を減らすべく電子ジャーナルへの移行に取り組んでいます。回り道もしてきましたが、今後も前向きな姿勢で業務を模索し続けようと考えます。